記者発表資料

平成２９年１１月　７日

国道6号　常磐バイパス

未来の土木技術者が建設工事現場を体験

～福島高専生が菅波（すぎなみ）大橋上部工工事を見学～

平成29年11月10日（金）に、国道6号 常磐バイパス 菅波大橋上部工工事の現場を福島工業高等専門学校 都市システム工学科の生徒さんが見学します。

菅波大橋は延長110mの逆ローゼ（アーチ系）橋であり、架設はケーブルクレーン斜吊工法で施工しています。

この見学会は、施工業者である日本ファブテック(株)の主催によるもので、高専生が直接現場の状況を目にすることにより、建設業界の役割や魅力を伝えること、若者の職業意識を高めることを目的に実施するものです。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解を深めていただきます。

１．日　時　：　平成２９年１１月１０日（金）　１３：００～１４：４０(予定)

２．場　所　：　国道６号 常磐バイパス　菅波大橋（すぎなみおおはし）

３．見学者　：　福島工業高等専門学校 都市システム工学科　４年生　４５名

４．取材について

①取材を希望される方は、前日１７：００までに別紙「現場見学会取材申込書」によりFAXにてご連絡をお願いします。

②当日は、１２：５５までに「菅波大橋　現場事務所（別紙位置図参照）」にお集まり下さい。

③雨天でも開催しますが､豪雨等が予想される場合は中止になる場合があります。

問い合わせ先	
【見学会に関するお問い合わせ】 菅波大橋上部工工事　請負者 日本ファブテック（株） 現場代理人　山崎　俊幸 0246-38-3017	【事業に関するお問い合わせ】 国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所　0246-23-2211（代表） 副 所 長　石井　重好　（内線２０４） 工務課長　橋本　幸雄　（内線４１１） 【工事に関するお問い合わせ】 磐城国道事務所 平出張所 0246-34-8394 出張所長　清水 吉典

※発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課

現 場 見 学 会 取 材 申 込 書

(申込日　平成　　年　　月　　日)

現場見学会日時	平成２９年１１月１０日(金)
現場見学場所	国道6号　常磐バイパス 菅波大橋上部工工事
取材申込者	○会社名　： ○記者氏名： ○人数　　：　　名 ○連絡先　：TEL （当日連絡がつく電話番号としてください）
ヘルメットが必要な方は記載	○ヘルメットの必要個数　　個
その他質問事項	

【注意事項】

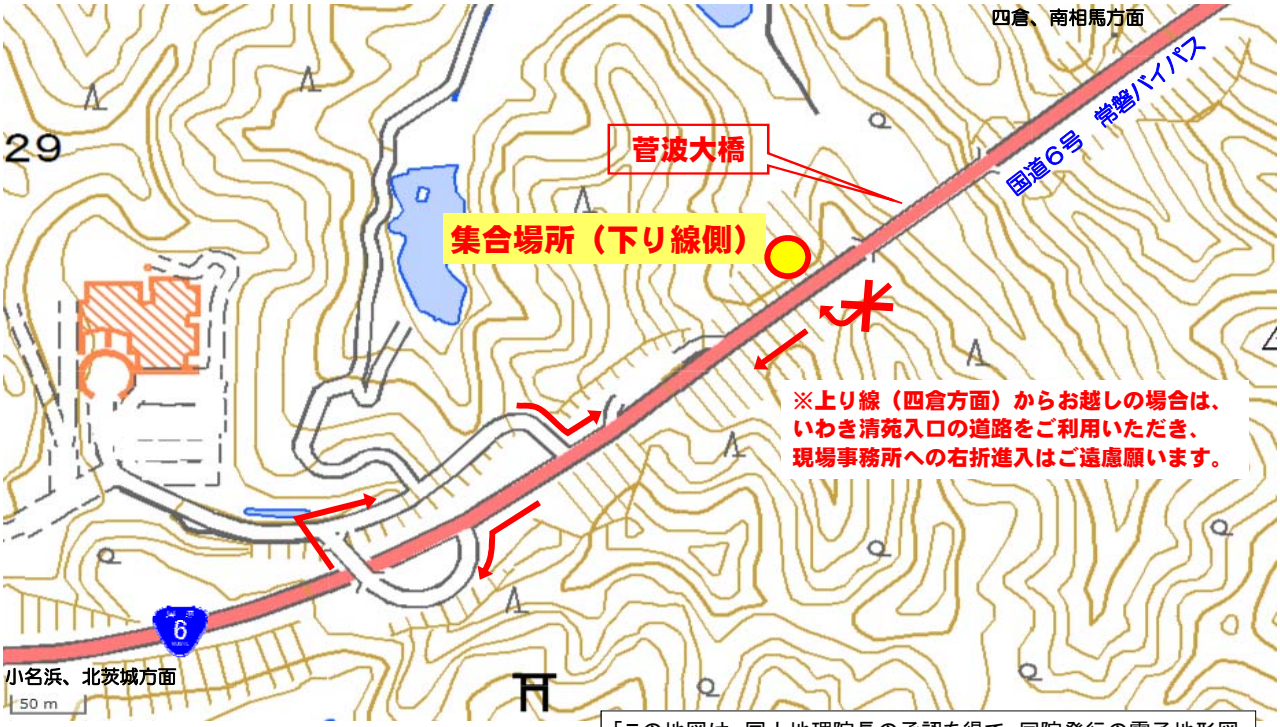
ヘルメットの準備をお願いします。ヘルメットを準備できない方はこちらで用意しますのでご連絡ください。

日本ファブテック（株）　あて
〒９７０-８０２６
福島県いわき市平字愛谷町1-4-6　富士ビル１－B

FAX：０２４６-３８-３０１８

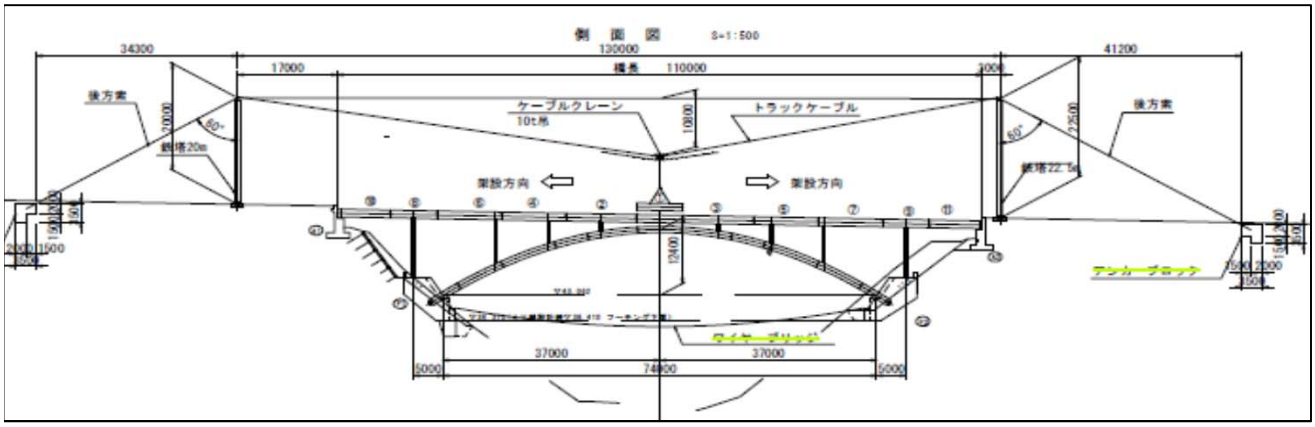
菅波大橋および現場事務所位置図





「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号　平29東複、第33号）」

【菅波大橋　架設計画図】



【菅波大橋上部工工事の状況】



－常磐バイパスから見えるケーブルクレーン鉄塔－

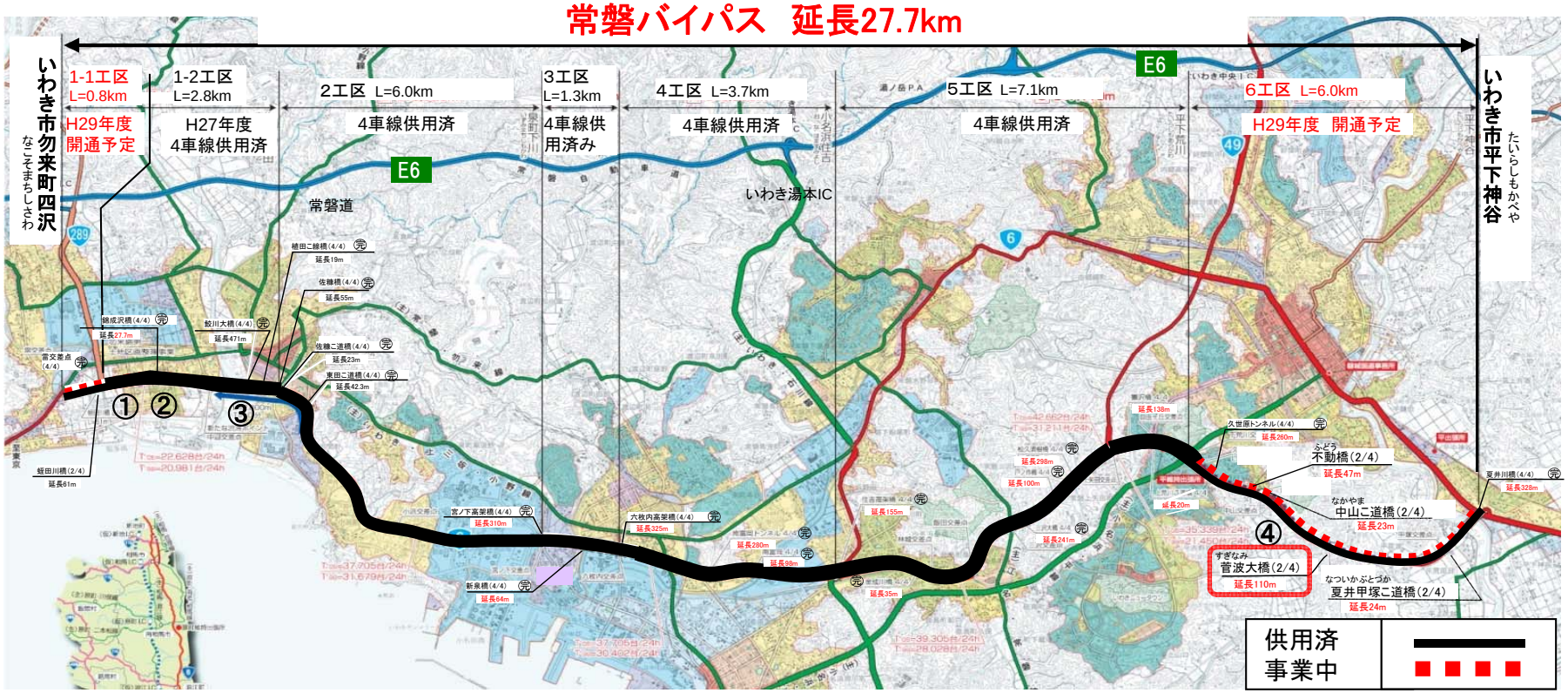


－架設中の上部工－

国道6号　常磐バイパス



いわき市内の交通混雑の緩和と主要幹線道路機能の強化を目的として、延長27.7kmを4車線に整備。




①
さくら
作鞍交差点


②
にしきまち
錦町地区

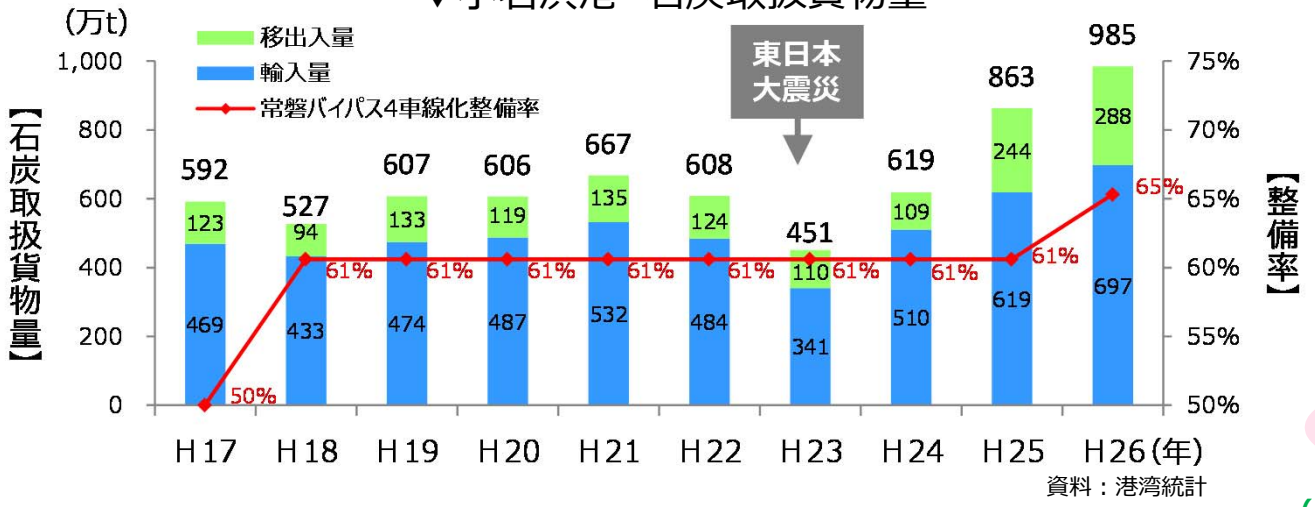

③
さめがわ
鮫川大橋


④
すぎなみ
6工区（菅波大橋付近）

【常磐バイパス】期待される効果①　重要港湾「小名浜港」へのアクセス性向上

・常磐バイパスの沿線では工場の増新設が進み、工場～小名浜港の輸送において常磐バイパスが利用される
・常磐バイパスの整備とともに、小名浜港では陸送を行う石炭の取扱量が増加傾向（石炭は小名浜港の取扱貨物の約５０%を占める）
・石炭の運搬先である火力発電所の施設増強（石炭ガス化複合発電）の計画や、小名浜港の東港地区の整備などにより石炭の取扱量が増え、今後更に常磐バイパスの利用増加が見込まれる
・常磐バイパスの4車線化、小名浜道路の整備に伴い、小名浜港へのアクセス性の更なる向上が期待される

▼小名浜港　石炭取扱貨物量



資料：港湾統計

▼いわき市の工業団地及び工場増新設箇所

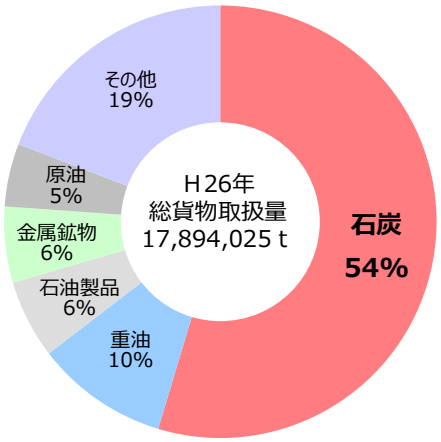


資料：福島県商工労働部企業立地課

■常磐バイパスを利用し、輸入した石炭・工業塩を小名浜港から勿来IC付近の工場までダンプトラック200台/日以上輸送しています。
■4車線化によって**渋滞が緩和したことで顧客先へ遅れることが無くなりました。**

<沿線企業の声>

▼小名浜港　主要取扱貨物



資料：小名浜港統計年報（H26）

▼小名浜港 東港地区整備の状況

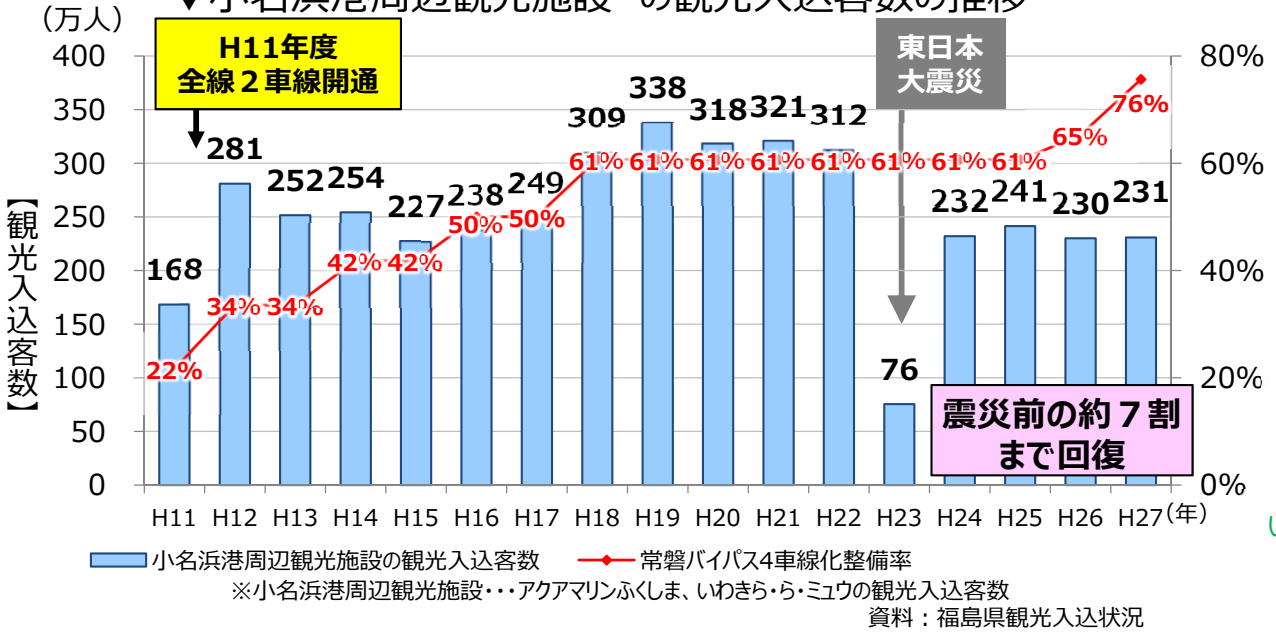


資料：小名浜港湾事務所

【常磐バイパス】期待される効果②　常磐道アクセス、交通混雑の緩和による観光の活性化

・これまで常磐バイパスの整備とともに、小名浜港周辺への観光客数が増加
・大型商業施設の進出（平成３０年開業目標）により、更に常磐バイパスの利用増加が見込まれる
・常磐バイパス４車線化等の整備により、時間短縮・アクセス性が向上し、観光の活性化が期待される

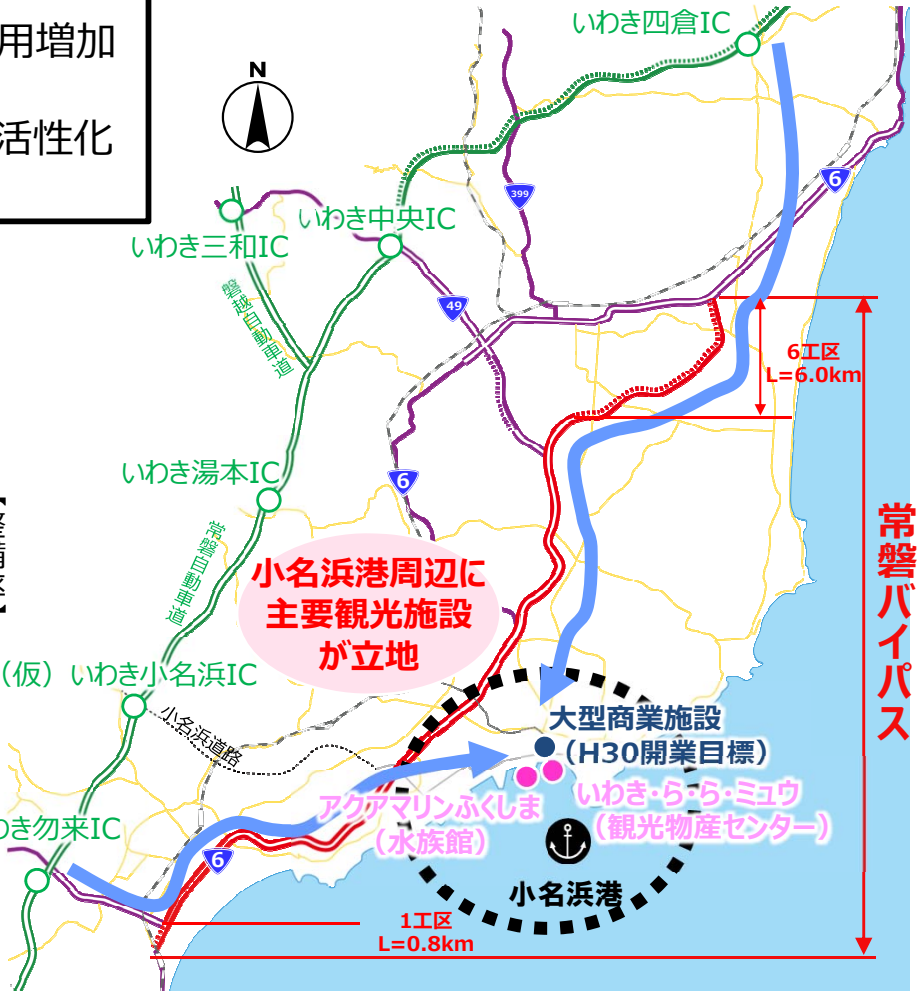
▼小名浜港周辺観光施設※の観光入込客数の推移



※小名浜港周辺観光施設・・・アクアマリンふくしま、いわきら・ら・ミュウの観光入込客数

資料：福島県観光入込状況

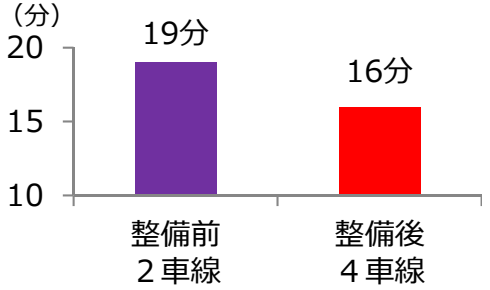
▼小名浜港周辺の観光施設の立地状況



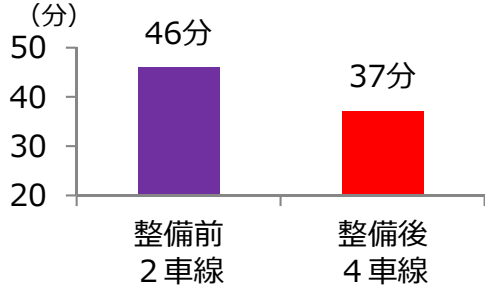




▼勿来IC→小名浜港の所要時間



▼いわき四倉IC→小名浜港の所要時間



資料：道路交通センサス